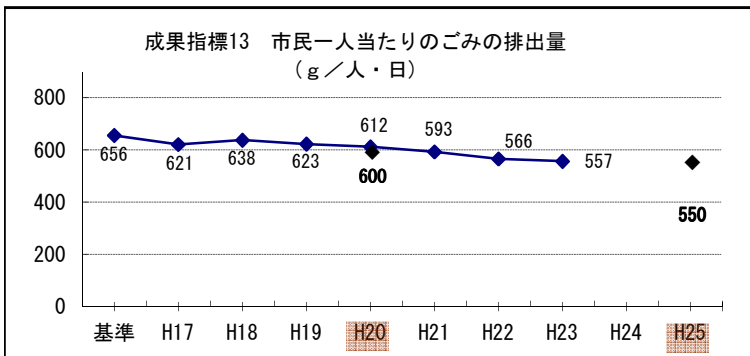


| | |
|------|---------------------------|
| 柱 | 3 廃棄物・リサイクル |
| 分野 | I リデュース・リユース |
| ビジョン | 買う人・売る人・作る人 いつも心に“もったいない” |

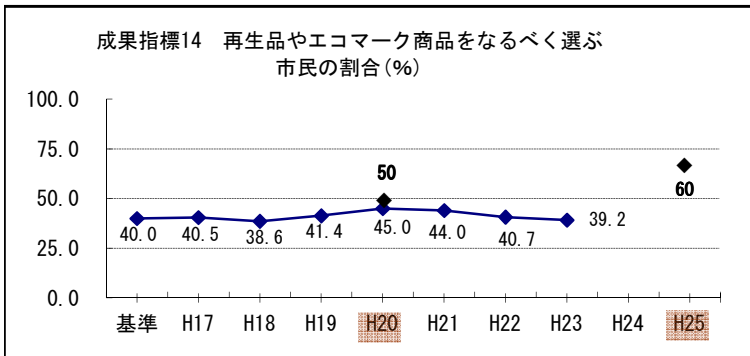


主な事業
 ごみ指定袋制、レジ袋の有料化
 集積場所での資源回収
 EM処理剤の無料配布
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「市民一人当たりのごみ排出量」は19年度から徐々に減少し、23年度は557gとめざそう値に近づいた。不況の影響があるとは思われるが、人口増に伴う、ごみ排出量の増加が見込まれる中で、成果指標の推移は順調である。

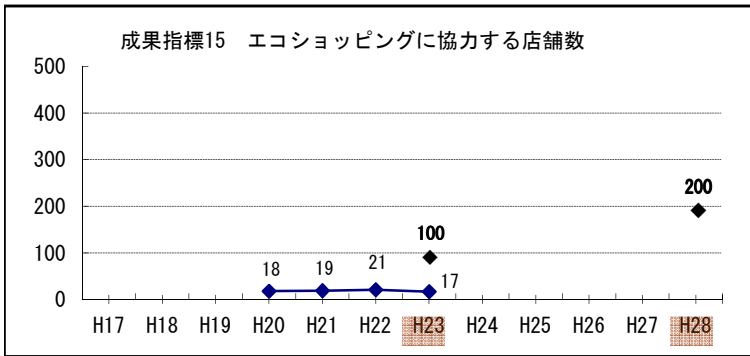


主な事業
 リサイクルフェア
 資源集団回収
 分別収集事業
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「再生品やエコマーク商品をなるべく選ぶ市民の割合」は、19年度まで基準値とほぼ同程度、20・21年度は上回ったが、22・23年度は基準値とほぼ同程度まで下がってきており、あまり順調とはいえない。また、選ぶ人の割合では、50歳以上の方が多く、職業別では主婦及び無職の方は高かったものの、若年層が低い。



主な事業
 レジ袋有料化
 広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

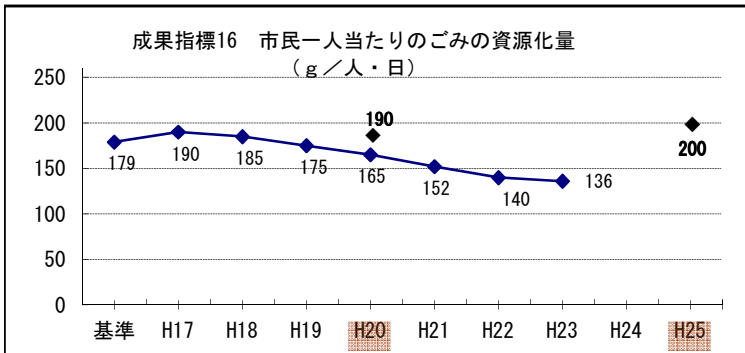
成果指標の分析
 「エコショッピングに協力する店舗数」はレジ袋協力店舗数として17店舗であり、昨年より減少している。これは、レジ袋協力店舗のレジ袋有料化制度の辞退によるものである。これまでも指標の数値の捕捉が困難なことから目標値を下回っているが、後期計画から定義付け及び捕捉方法を確立し、数値の把握に努める。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

①市広報、「ごみと資源の出し方」冊子及びごみ収集カレンダーや3R推進ホームページの充実、イベントでの展示を通じて、3R活動の推進や適正排出を呼びかける。
 ②ごみ減量とリサイクル推進を図るため、資源回収及び廃家電・硬質プラスチック製品等の無料回収を継続するとともに啓発を行う。
 ③エコショッピング協力店舗の定義を基に把握に努めるとともに、普及啓発を図る。

| | |
|------|-------------------------|
| 柱 | 3 廃棄物・リサイクル |
| 分野 | J リサイクル・適正処理 |
| ビジョン | 子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分 |

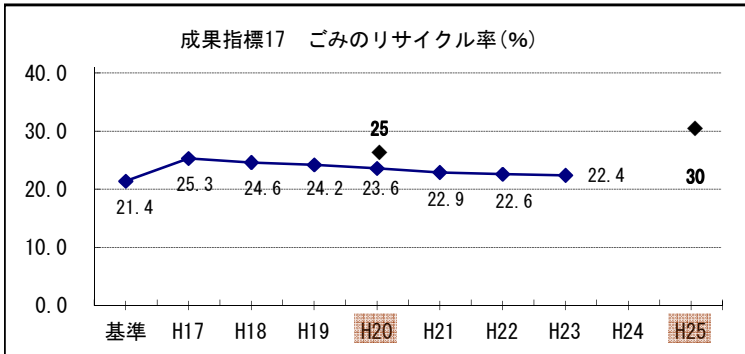


主な事業
 リサイクル情報事業
 フリーマーケットの開催
 リサイクルフェア開催

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「市民一人当たりのごみの資源化量」は、17年度を190gをピークとして、以降は減少傾向に転じ、23年度は136gと前年度に比べ4g減少した。これは主に紙類が約184tの減となったもので、主な理由としては、民間古紙回収場の開設・新聞の専売店回収等への移行、容器包装自体の軽量化、不況の影響による折込広告や段ボール等の減少が考えられる。なお、民間回収分を含めた参考数値（ごみ集積場所回収及び民間回収を含めた数値）の23年度は205gとめざそう値を達成した。

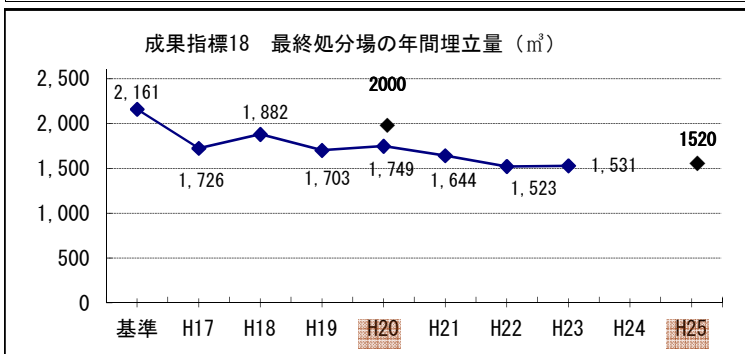


主な事業
 リサイクル情報事業
 フリーマーケットの開催
 リサイクルフェア開催

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「ごみのリサイクル率」は、紙類の民間古紙回収場の開設・新聞専売店等への移行、容器包装自体の軽量化や不況の影響による折込広告や段ボール等の減少により、分別収集・集団回収での回収量が約140tの減となったため順調でない。ただし、資源用袋での回収は、順調に伸びてきている。



主な事業
 清掃工場・最終処分場の適切な維持管理
 広域ごみ処理場の整備推進

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析
 「最終処分場の年間埋立量」は、コンクリート・陶磁器類等の搬入量の制限や資源化の推進に伴い、基準値からは途中多少の上下はあったが徐々に減少し、22年度は1,523m³とめざそう値に近づいた。23年度は1,531m³とほぼ横ばいの状況であった。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

- ①市広報、「ごみと資源の出し方」冊子及びごみ収集カレンダーや3R推進ホームページの充実、イベントでの展示を通じて、3R活動の促進や適正排出を呼びかける。
- ②ごみ減量とリサイクル推進を図るため、資源回収及び廃家電・硬質プラスチック製品等の無料回収を継続するとともに啓発を行う。
- ③焼却飛灰と溶融飛灰を分離することにより、焼却飛灰のみを最終処分場に埋立、溶融飛灰は民間処理施設で再資源化する。